



今年は大連休となりました。年号も変わり今年は特別な一年になりそうですね。
お休み中は楽しい思い出がたくさん出来たでしょうか？連休も終わりました新たな気持ち園生活を楽しんでいけるよう体調を整えて元気いっぱい登園してきてくださいね。
今月もどうぞよろしくお願い致します。

園で預かる薬について

基本的に園での与薬は行っていません。病院にかかる場合には、園に通っていることを伝えたくて、処方回数を1日2回に変更できないかなど、担当医師に相談してみてください。

園では、医師の指示により保育時間内に与薬が必要な場合に限りお預かりさせて頂きたいと思っております。
その際は、下記の方法をお願いします。

- ①名前を書く。…ジップロックと薬の袋・容器
- ②ジップロックに入れる。
 - ・名前を書いた薬
 - ・処方箋のコピー
 - ・与薬依頼書
- ③登園時に職員に手渡しで渡す。
- ④保護者と職員で内容の確認。

※抗けいれん薬・抗アレルギー薬のお預かりに関しましては、お預かり方法が異なります。
その他、薬に関してご不明な点がありましたら、看護師・保育士にお問い合わせください。

尿検査のお知らせ

5月22日に提出です。
(ひまわり・さくら組です。)

朝1回目の尿を採取し、9時まで提出をお願いします。

尿中にタンパクや糖が出ていないかを検査し、腎臓の病気や糖尿病の疑いがないかを調べます。

こんなうんちは心配です

うんちは健康のバロメーター。おむつ替えのときは、ぜひうんちの状態を確認してみてください。
要注意なうんちは「白」「赤」「黒」の色のもの。病気の可能性があるため、おむつを持って診察を受けましょう。

白



酸っぱいにおいがしたり、白っぽい水のようなうんちが出るときは、ウイルス性胃腸炎の疑いがあります。

赤



真っ赤な血や、大量の血が混じっているうんちは、腸の病気や急性胃腸炎の可能性がります。

黒



黒っぽい便が何度か続くときは、胃や十二指腸など、消化器管の上の方で出血している可能性があります。





春のスキンケア



気候が穏やかな春も、実は皮膚トラブルの多い季節です。飛散する花粉や強くなる紫外線などが刺激を与えます。子どもは大人と違い皮膚が薄く、皮脂の分泌も少ないため、春の刺激で肌が荒れてしまうとアレルギー物質が皮膚の中に入りやすくなってしまいます。特に乳児さんが肌荒れしやすいのはこのためです。紫外線が強くなり始める今の時期からスキンケアをすることが大切です。スキンケアは、汗や汚れをしっかりと洗い流すことが基本です。洗浄料は弱酸性・低刺激のものがお勧めです。

洗浄後は必ず保湿をしてあげましょう。保湿剤には、乳液タイプ・ローションタイプ・クリームタイプと種類もいろいろですが、季節や肌の状態によって使い分けると効果的です。

花粉やダニ、ハウスダストなどのアレルギーの量も増えている現代、子どもたちの肌を親子で楽しくコミュニケーションしながら守ってあげたいですね。



桜の開花・人の生き方

3月に入るとソメイヨシノの開花予想情報でにぎやかになる。という書き出しで始まったある3月号の雑誌に目が止まりました。

この時期になると、冬の寒さを耐えて美しい花を咲かせる桜の開花システムに自然の驚きと教訓めいたものを感じるのは私だけでしょうか？桜は、前の年の夏に翌年に咲かせる花の芽を作り夏至を過ぎ、夜が長くなると休眠ホルモンを作り一日の最低気温が10℃を下回るようになると徐々に目覚めの準備に入っていくのだそうです。

桜の開花には春の温かさだけでなく、冬の寒さも必要だと文章をまとめていました。

私にはソメイヨシノの開花がヒト（ホモサピエンス）の生き方につながっているように思いました。

ホモサピエンス 30 万年の歴史の中で、なぜ人だけが生き残ったのかと言えれば環境の変化に対応してきたからだということです。

だから

君たちは	どう生きるか
私たちは	どう生きるか
君はヒトとして	どう生きるか

 が問われているのでしょうか。

社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲